



まちなか環境学習館の今後について

宇部市市民環境部 部長 藤崎 昌治

まちなか環境学習館は、市民や環境活動団体等の環境学習や環境保全活動を支援することを目的として、平成23年8月に開設し、環境学習の情報提供や発信のほか、環境学習の支援を実施するなど、環境学習の拠点施設としての役割を担ってきました。

開館してから10年目を迎えますが、その間に、持続可能な環境目標（SDGs）や気候変動に関する国際的枠組であるパリ協定の採択、地球温暖化問題や海洋プラスチックごみ問題の顕在化など、環境問題を取り巻く情勢は大きく変化してきました。これらに対処し、持続可能な社会づくりを担う人材を育成するため、環境学習・教育のさらなる充実が求められています。

そこで、まちなか環境学習館をより一層有効活用するため、令和3年4月から、従来のミーティングルーム（会議室）の貸し出しや自習室の利用を主とした運用形態を見直し、専門性の高い、実績のある複数の環境団体に、まちなか環境学習館に入居していただくこととしました。

これにより、各団体の専門性を活かした学習支援を実施するとともに、団体間の連携強化による新たな環境学習・学習プログラムの創出や、環境に関する相談にワンストップで対応する体制を整備し、環境学習の拠点施設としての機能強化を図りたいと考えています。

そのため、現在、中高校生の皆さんを中心として多くの方にご利用いただいている学習室については廃止することとしますが、学習室を利用されている方への配慮として、図書館の自習スペースを拡張するとともに、より身近な場所で学習ができるよう、ふれあいセンターでの自習スペースの設置についても検討しているところです。

今後、学習館は本来の設置目的に立ち返り、環境という切り口を中心にして、宇部市の将来を担う若い世代の学びや成長を促す学習拠点として生まれ変わりますが、運営に当たっては、市民の皆様からのご意見も反映させながら進化させていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

中学校の現場から

『生徒たちにしてあげるべきこと』の一つとして・・・
宇部市立藤山中学校 校長 海頭 巖

『三度目の正直』か『二度あることは三度ある』なのか。『国営ひたち海浜公園』の『コキア』の映像に魅了されてからというもの「学校にコキアを植えたい。あの緑色から紅色へ移ろっていくその美しさをぜひ生徒たちにも味わわせたい」という強い思いで、コキア植樹に挑むこと三度。生徒や先生方そして地域の人たちの協力を得たにもかかわらず、ことごとく夢ついでたり。まさしく『二度あることは三度ある』だったのです。

「それでも・・・!」ということで、地域の人や教職員にお知恵を戴き、北門の東側斜面から西側斜面へと場所を移し、土地改良のための肥料の使用と、直まきを止めて『ポット』から育てることにしたのです。庶務員の末富さんの花に捧げる愛情と手厚く適切な処方のおかげで、可愛らしい苗が育ちました。その時のうれしさと感謝の気持ちが相まって、5月中旬に、多くの先生方で苗の植え付けをしました。その後も末富さんの処方箋により、夏までには、めきめきと大きく丸みをおび、コキアはフワフワのライムグリーンボールへと育っていきました。そして秋。真っ赤に紅葉したコキアは、これまでの無念の思いを払拭してくれるように私の心に燃え上がる炎のようなワクワク感を抱かせてくれたのです。

冬。刈り取られたコキアの種は、また来年の命に繋がっていきます。そして枝は和名『ほうき草』のとおり、生徒たちの手によって『箒（ほうき）』へと変貌し、あるものは朝夕の奉仕活動で活躍し、またあるものは地域の福祉施設で役立ててもらおうと手元を巣立って



いきました。

『普通の百姓は作物をつくる。悪い百姓は雑草をつくる。そして良い百姓は土をつくる』といひます。ここでいう良い百姓がつくる『土』とは『良い作物が育つ良い環境』ということでしょう。私たち大人が、子どもたちのためにしてあげるべきことは、まさにこの『良い環境づくり』だと思ひます。これまでしてきたこと、今やっていることにどんな味付けをしていくか。また身近でやれること、続きそうなことにどう取り組むかで、持続可能な取組ができると思ひます。このコキアづくりが、来年、再来年、そして未来にかけて繋がる取組の一つだと考えています…。

今年3月末にうべ環境コミュニティーがまちなか環境学習館の指定管理者となって10年を迎える。ここで指定管理者として10年の反省とうべ環境コミュニティーの今後について考えてみた。

1. エコ市場の開催

中央町銀天街のにぎわい創出を目的として年2~4回エコ市場を開催した。開催に当たっては北部農村地帯からの軽トラ市への参加や環境団体・高等学校などの環境活動紹介や子育てグッズリユースを同時開催するなど、通常のマルシェとの差別化を図り、環境によるにぎわい創出に工夫を凝らした。参加者は毎回延べ400~500人程度とそれなりの参加者を集めることが出来た。地域商店街や参加者からそれなりの評価を得ることが出来たと考えているが、年間を通じた持続的な賑わいの創出につなげることは出来なかった。その結果10年間にわたるエコ市場の開催も十分に目的を達成したとはいえない。地域のにぎわい創出は宇部市に限らず日本の課題であり、簡単に実現できる課題ではない。我々も工夫・努力が足らなかったと思うが、資金のない中で、環境活動に興味のある会員の集団に与えられた課題としてはあまりにも重い課題で有ったといわざるを得ない。しかし官が主導し、産・学・官・民が協力するいわゆる宇部方式にて取り組みは不可能な課題ともいえないと考える。

2. 環境学習室の運営

環境に関する専門書を備えた市民のための環境学習の場としての運営を目的として開設された。しかし実態は、利用者年約7,000人のうち約90%が中高生であり、受験勉強の場となっている。市民の環境学習の場としては十分に機能したとはいえない。利用者を選択することも出来ず、環境に関する関心が必ずしも高くない中で環境学習の場の効果的運営は容易ではなかった。しかし中高生の受験勉強の場としては十分効果的であったといえる。子供のための良好な受験勉強の場が市内にはほとんどない結果と思うが、このことには驚かされた。将来を背負う子供達のため、行政として市民として行うべきことがあるのではないかと考えさせられた。結果として、子どもの教育という社会的課題解決には役立ったと自負している。

3. 環境サロン

環境に関する知見の深い人を交え、環境に関する議論の場を提供することにより、環境に関する知識・現状認識や問題意識を高め、行動する人を育むことを目的とする事業である。年20回近い開催での参加者は1回あたり約20人前後とまずまずの参加人数を確保することが出来た。問題は、このような学習プログラムにおいてはその効果を評価する

手段が無く、その有効性が評価できないところにある。20人の人が参加したからそれなりの行動変革につながったであろうとの自己満足程度で、他者から高い評価を受けることは困難である。有効性の評価方法を確立し、より効果的なプログラムの開発に取り組みなければならないと考える。

4. 掃除を通じて環境を学ぶ

海岸やまちなかの掃除体験により、現状を認識し、環境について考えることにより、行動変革につなげようとする事業である。この事業は、清掃部分がきれいになったという結果の検証は出来るものの、本来の目的である行動変革したかという評価は難しく、環境サロン同様出来ていない。

5. ESD, SDGs学習

体験学習を主体としたESD学習プログラムの実践や高校生を対象としたSDGsの自分ごと化（ローカライズ）に取り組み、「MY行動宣言カード」を作成し、携帯することにより行動変革を促す事業を行った。これとて実際のどの程度行動変革につながったか知ることは困難である。学習の有効性を確認しながらプログラムを改善するシステムを開発し、その有効性をスパイラルアップする必要がある。

6. ポータルサイトの運営

有効な情報をどれだけ発信できるか、どれだけの人に関心を持って読んでくれるかにかかっている。多くの人に読んでいただくための工夫が欠かせない。また市民の環境に関する関心を高めることが欠かせない。行政の協力を得て情報を市民に送りつけることも考える必要があると思う。いずれにしても市民に必要な情報を確実に掲載し、市民の信頼が得られるよう工夫を重ね行う必要がある。

7. まとめ

我々に与えられた使命は、地球環境を持続可能にするための具体的で効果的な解りやすい活動、すなわち①市民を「ゆでカエル」から目覚めさせるための活動（行動変革を促すための知識・啓蒙活動）、②環境影響を直接実質削減するための具体的活動を実施することだと考えます。しかし、これらの環境に関する活動には多くの資金とマンパワーが必要になります。これらの活動資金を他者に頼ってはいけず十分な活動は期待できません。大事なことはこのような事業で資金を稼ぎ、この資金を糧にまた事業を拡大するサイクルを確立し、スパイラルアップすることです。我々は今後、地域の環境課題を解決することにより資金を獲得し、これを糧に次の課題に挑戦するサイクルを確立することにより、うべ環境コミュニティーを持続させたいと考えています。多くの皆様からの有効な提案とご理解、ご支援をお願いします。

イベントのお知らせ

2020年度第5回環境サロン『資源循環型ものづくり』

話題提供者：田澤恵津子さん（エシカルバンブー(株)）
益田文和さん（(株)オープンハウス）

日時：2021年 2月25日(木) 18時~20時
場所：宇部市まちなか環境学習館 4階
資料代200円（高校生以下無料）
※会場の都合で人数制限があります。
参加ご希望の方はご連絡ください。



第4回読書感想会 in 宇部市まちなか環境学習館

日時：2021年2月5日（金）18時~20時
場所：宇部市まちなか環境学習館 4階
※本を紹介してくれる方、参加者希望の方募集中です。



第110回まちなかおそうじ隊

日時：2021年2月28日（日）15時~（1時間程度）
集合：まちなか環境学習館前（申し込み不要）



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号
交通手段 J R宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分
宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分
駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com
開館時間 9時~21時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>
休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日~1月3日）



HomePage



facebook



twitter

